

校長室の窓から 118

070929 楽器が変わるとどんな感じに聞こえる？

2 時間目、6 年 1 組では「ラバースコンチェルト」という教材曲で合奏の学習を行っていました。「ラバースコンチェルト」は確か私が小学生の頃から音楽の教科書にのっていたような・・・誰もが一度は聞いたことのある曲です。

授業では、4 つの旋律が重なり合っていること、それぞれの旋律ごとに役割があること、それぞれの旋律の役割を考えたときに、どんな楽器が合うのだろうかという話し合いが行われていました。

- 1 主な旋律
- 2 かざりの旋律
- 3 和音
- 4 低音

子供たちなりに、どんな楽器がふさわしいのかいろいろと意見を出しますが、しかし実際演奏してみないと、どんなハーモニーになるのか実感できません。

そこで、今日活躍したのは、ICTです。

音楽アプリの中では**4つの旋律の演奏楽器を自由に選んで再生**することができます。

今日の授業の中では、「リコーダー」「けんぱんハーモニカ」「木琴」「ピアノ」「バスマスター」の楽器の音色を、アプリ内で組み合わせ、聞き比べを行っていました。

「リコーダーが主旋律だと、他のパートとなじむ」
「かざりの旋律が木琴だと、木琴の音色が際立つ」
「けんぱんハーモニカの音色は主張が強い」
「(けんぱは)まるで大阪のおばちゃんみたい」

けんぱんハーモニカのくせツヨな音色を、「大阪のおばちゃん」と表現する子供たちの感性。

なかなか鋭いですね。



音楽アプリを使うと、自分たちで演奏できなくても、こんな聞き比べの授業が可能になります。効率的に楽器選びを行い、自分たちのイメージにぴったりの合奏ができるといいですね。

愛と信の仲よし

中太閤山小学校長 堀かおり